

「ポリモルフィア」創刊10 年目を迎えて

上瀧, 恵里子
九州大学男女共同参画推進室 : 教授

青木, 玲子
公正取引委員会 : 委員

武内, 真美子
愛知学院大学経済学部 : 教授

山下, 亜紀子
九州大学大学院人間環境学研究院 : 准教授

<https://hdl.handle.net/2324/7347451>

出版情報 : ポリモルフィア. 10, pp.22-33, 2025-03-21. Office for the Promotion of Gender Equality, Kyushu University
バージョン :
権利関係 :



寄稿 創刊時の思い出と今後に向けての期待

武内真美子

愛知学院大学経済学部 教授

(創刊時 九州大学男女共同参画推進室 准教授)



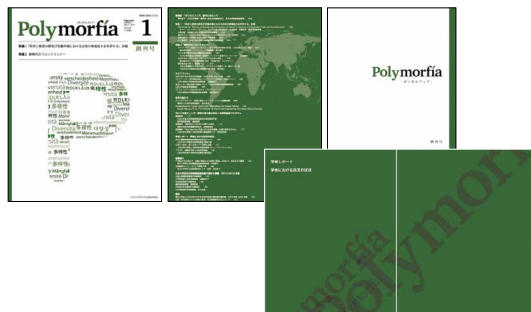
2016年にポリモルフィアが創刊されて2025年の3月に10年の節目を迎えられるとお聞きしてとても嬉しく感じています。私は、九州大学の男女共同参画推進室に専任教員として所属していた2014年から2020年の間に、ポリモルフィアの創刊号Vol.1からVol.5までの編集に携わることができました。ポリモルフィアの創刊号に着手した当時の正直な気持ちは、私にできるだろうかという不安とチャレンジしたい好奇心が同じ割合で心の中を占めて葛藤していたのを思い出します。

初めての学術的な雑誌の編集という作業にどの程度の時間を費やすことができるだろうか、創刊してもあまり長く続かないかもしれない、予算を毎年つけてもらえるのだろうかなどいろいろな不安が繰り返し浮かんでいました。同時に、他の大学ではやっていないこと、九州大学だからできるこ

と、学術分野における男女共同参画の推進についての情報発信ができるといった前向きな気持ちは編集への取り組みを強く後押ししてくれました。

創刊時には、ポリモルフィアのネーミングから、冊子のデザインの細部を決めるにいたるまで、当時の室長の青木玲子先生、部門長の近藤加代子先生をはじめ、室員の先生方、芸術工学研究院の先生方にも大変お世話になりました。また、印刷を城島印刷が担当してくださったこともスムーズに発行できた要因だったと思います。今もとても愛着を感じて冊子を拝見していますが、ベストなメンバーがポリモルフィアの創刊に揃いました。一つ一つを話し合いながら進めたことはとても懐かしい思い出です。

一方で、継続して発行するためには、室員(兼任)の先生方にはできる限りご負担をかけない方法で進めることも必要で、その分専任の教員とスタッフに負荷がかかることが心配でした。また、いろんな活動が持続的に行われて、周囲の人の関心も集めるものにしなければならませんでした。それでも、ポリモルフィアのような男女共同参画に関わる実践的な現場の声と学術的な知見の両方を届けられる専門誌、地道な活動を記録して残せる専門誌を作ることは、少なくとも当時は全国のどの大学でも行われていなかったことで、と



ポリモルフィア誌の個性的な表紙及び内装

てもやりがいのある仕事だと感じていました。

実際に、Vol.1からVol.5の発行まで、男女共同参画推進室の室員の先生方、スタッフの方々の協力を得ながら企画、執筆、編集、校正という一連の作業を通じて協働で冊子を作り上げたことは、私にとって貴重な経験となりました。JSTの事業に採択される機関が増えていく中で、その業務に携わる全国の大学のスタッフの中にも社会学、心理学、経済学、国際関係などの専門性の高い知見を有する教員が多くいました。そういう人達が実務を行いながら、専門的な知見を発する情報誌になってほしいと心から願っていました。それは今も変わりません。

私の専門は労働経済学で特に女性労働に関わる実証分析を中心に研究をしており、6年間九州大学男女共同参画推進室にお世話になり、現在は名古屋の私立大学で研究を続けています。今は、実務的に男女共同参画の仕事に携わることはなくな

りましたが、私の研究者人生の中ではポリモルフィアの編集も含めて九州大学男女共同参画推進室で経験できたことはすべて貴重な経験であったと思っています。また、九州大学での出会いと経験が今の私の仕事や生活をより豊かに感じられるものになっていると思います。

ポリモルフィアには九州大学だけでなくQ-wea（九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク）や全国で活動をされている教員やスタッフから原稿が寄せられており、学術分野における男女共同参画の情報発信とともに、貴重な活動の記録でもあります。こういった記録が次世代の若手研究者を勇気づけ、活躍の後押しをするきっかけになってほしいとこれからも切に願いたいと思います。

（挿入図等は編集委員会による）

ポリモルフィア 創刊号

2016年3月31日発行

編集	九州大学男女共同参画推進室 編集委員会
編集委員長	理事・副学長（男女共同参画担当）男女共同参画推進室長 青木 玲子
副編集委員長	芸術工学研究院教授 近藤 加代子
編集委員	医学研究院准教授 鮎澤 純子 芸術工学研究院准教授 池田 美奈子 人文科学研究院准教授 エレン・ヴァン＝フーテム 応用力学研究所准教授 糟谷 直宏 法学研究院教授 豊崎 七絵 男女共同参画推進室准教授 武内 真美子
デザイン	
監修	池田 美奈子、藤 紀里子
表紙	中川 万莉奈
フォーマット	橋本 翔
レイアウト	林 可佳、江頭 奈未、高木 友紀公
発行	九州大学男女共同参画推進室
印刷所	城島印刷

創刊時の編集委員及び関係者